

最新の実践したプログラムの設備と環境を充実する

高度医療人育成センター

“研修医の医局”として初期研修医には3階全フロアが用意されています。『卒後臨床研修センター』の機能がより充実されました。地域の方へのセミナー・臨床技能研修・女性医師支援などを行う多目的な施設ともなっています。



5F 研修室

4F OSCE (客観的臨床技能試験) 室

3F 卒後臨床研修センター

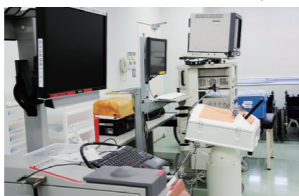
2F 臨床技能研修センター (スキルスラボ)

1F 地域医療支援推進室 (パソコンルーム)

快適な研修環境

“研修医の医局”として用意されている研修医室は、高難度医療人育成センター3階全フロアを使い、一人一人に机とLANケーブルが用意されています。また、シャワールームやアメニティ部分も充実しています。

シミュレータ教育を取り入れ、確実にあなたの身になる研修をサポートします。苦手な手技の修得やチーム医療実践のためのプログラムなど随時実施します。



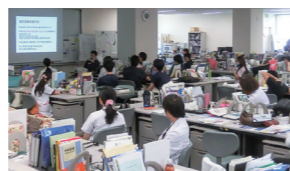
バーチャル内視鏡シミュレータ



手術支援ロボットトレーナー



高機能シミュレータ



ランチョンセミナー



研修医室



共有スペース



ロッカールーム



シャワールーム

Date

●附属病院の特徴

和歌山県立医科大学附属病院は、高度で先進的な医療を提供し、あらゆる分野の疾患に対して総合的な診療ができる県内で唯一の特定機能病院です。また、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなど多くの指定を公的機関から受けています。手術支援ロボット「ダヴィンチ」や強度変調型放射線治療「トモセラピー」、最新型の「リニアック」、心血管疾患に対して新たに血管内治療と外科的治療を組み合わせた「ハイブリッド手術室」など、最先端医療の充実を図り、患者さんにより安全で正確な手術を提供しています。

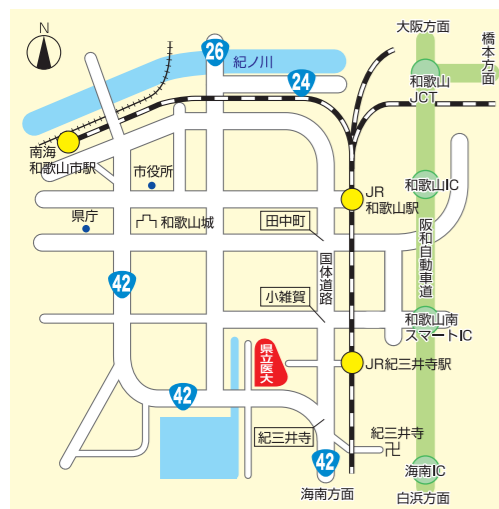
●概要

常勤医師数: 567名 (指導医 232名、研修医 122名)
(R8.4.1現在)
 許可病床数: 一般病棟 760床、精神病棟 40床
 平均在院日数: 11.3日 / 病床利用率: 75.5%
 1日平均入院患者数: 604人
 1日平均外来患者数: 1,519人
 紹介率: 87.9% / 救急車搬入患者数: 5,392人
 ドクターヘリ搬送患者数: 379人
 手術件数: 9,092人 / 放射線治療件数: 14,499人
 内視鏡治療件数: 1,911人 / 分娩件数: 361件
(R7年度実績)

●処遇

基本給: 月額300,000円
 超過勤務手当支給、通勤手当支給
 勤務時間: 平日 (8:45~17:30)
 休憩時間: 12:00~13:00
 休 暇: 土・日・祝日、
 年次有給休暇 (1年次10日、2年次11日)、
 夏季休暇 (3日)、特別休暇
 当 直: あり (当直料は超過勤務手当として支給)
 社会保険: 健康保険、厚生年金、雇用保険に加入する
 そ の 他: 労災保険適用、白衣貸与

Access

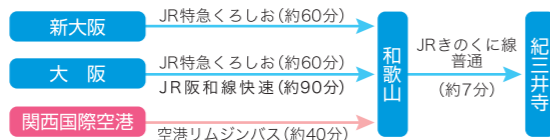


和歌山県立医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
 TEL: 073-441-0575 FAX: 073-441-0576
 E-mail: sotugo@wakayama-med.ac.jp
<https://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

●交通アクセス

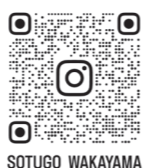
鉄道のご利用 JRきのくに線「紀三井寺駅」から徒歩約7分



バスのご利用

和歌山バス「医大病院」下車すぐ
 和歌山バス・有田鉄道バス「医大病院前」から徒歩約3分
 和歌山バス「医大病院東口」から徒歩約5分
 ※主要駅 (JR和歌山駅・海南駅・南海和歌山市駅) から運行しています。

見学随時受付します



Instagram 更新しています。いろいろな情報を発信しています。

SOTUGO_WAKAYAMA



和歌山県立 医科大学附属病院

Wakayama Medical University Hospital

研 修 医 募 集



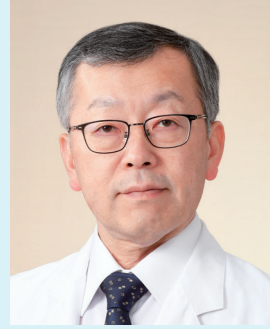
「大学病院」と「市民病院」

両方を経験できる!

自由度の高いプログラムで“実力”をつけよう。



自由度の高いプログラムで 医師としてのスタートを切る。



附属病院長
西村 好晴

初期臨床研修で大切なことは、医師としての基本を身につけることはもちろんのこと、将来自分の進むべき方向を決定する機会と指導医との良い出会いを持つことです。和歌山県立医科大学附属病院の研修は自由度が高いプログラムが特長で、将来を考えて自分にあった選択ができます。

また、すべての診療科において大学病院の高度先進医療に触れる機会はもちろん、一次から三次救急に至る幅広い症例を経験できる高度救命救急センターでの研修プログラムが組まれています。さらに、紀北分院での総合診療をはじめ、県内外の協力病院での研修を通じて多様な疾患を経験し、臨床医としての実力を身につけることが可能です。

本学附属病院の臨床研修プログラムを通じて、医師として、人間としてより一層の発展と飛躍を遂げられることを期待しています。



卒後臨床研修 の目標

卒後臨床研修センター長
北野 雅之

初期研修の目標は医師としての基本的な態度、技術、知識を得ることです。最も大切なことは、自分の専門外であっても正しくトリアージし診療の方向性をつけられることだと考えています。

一次医療から三次医療まで広く経験可能で、研究的診療も展開している当院は、まさに初期研修の場としてふさわしいと自負しています。



先輩研修医の
プログラム
西村 加奈 医師の場合
和歌山県立医科大学出身

パンフレットを手にとっていただきありがとうございます。当院の研修プログラムは魅力がたくさんあるのですが、ここでは3つ紹介させていただきます。

まず自由度の高いプログラムです。3ヶ月毎に大学病院だけでなく、研修ネットワーク内の市中病院も含めて自由に診療科を選択することができます。私の場合は志望科が未定であったため、まずは院内の興味のある診療科をローテーションしました。

2つ目は大学病院であるため診療科がそろっており、様々な症例を経験することができることです。大学病院ならではの専門性の高い疾患や先端医療はもちろん、一般的な疾患、基本的な救急対応も経験することができます。各科に経験豊富な先生が多数在籍されており手厚く指導いただけるのと同時に、多様な働き方をされている先生がいるため、自身の進路についても相談しやすいです。将来像に合うロールモデルもきっと見つかります。

そして、同期の多さも魅力の一つだと思います。毎年70名前後の研修医が集まるためお互いに情報共有しながら気軽に相談し合える環境です。将来専攻科を決めた後、自分の専門外の症例も同期に相談しやすくなるのは強みです。

ここには書ききれなかった魅力もあります。ぜひ一度当院へ見学にお越しください。皆さんと働ける日を心よりお待ちしております。

2年間のローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科		産科・婦人科		消化器内科		循環器内科		救急科			
2年次	産婦人科	小児科	総合内科	外科	救急科	地域研修	循環器内科	神経精神科	泌尿器科	NICU		泌尿器科



先輩研修医の
プログラム
吉井 稜真 医師の場合
自治医科大学出身

当院の研修プログラムの魅力は、研修先の自由度の高さと選択肢の広さです。1年次の4～6月のみ基本的な業務に慣れるため大学病院内で同一科を3ヶ月研修しますが、それ以降は1ヶ月単位で希望する診療科を選択できます。さらに大学病院に限らず市中病院も含めて好きなタイミングでローテーションが可能で、約3ヶ月前に次の研修先を選ぶので、興味や学びたい分野が変わってもその都度、柔軟に研修先を選択することは可能です。

私自身は将来地域医療に携わることから、1年次初期は内科中心に研修し、その中で勉強したいと思った読影や感染症、抗菌薬について学ぶため、放射線科や感染制御部をローテーションしました。また、大学病院と市中病院の役割の違いを理解するため、市中病院の整形外科や総合内科での研修も経験しました。研修期間中はできるだけ新しい環境で多様な経験を積みたいと考えて1ヶ月単位で選びました。

また、研修医の人数が多く、同期は67名の研修医がおり、和気藹々と気の合う仲間たちと切磋琢磨できる環境も魅力の一つです。救急科の研修では上級医のサポートのもとチームで助け合いながら経験を積み、医師としてだけでなく人間的にも成長できる環境だと思います。

是非一度当院を見学してください。みなさんと一緒に働けることを心よりお待ちしております。

2年間のローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	呼吸器内科 腫瘍内科		消化器内科	放射線科	血液内科	泌尿器科	総合内科	整形外科	産科・婦人科	救急科	小児科	神経精神科
2年次	救急科		総合内科	循環器内科	脳神経内科	地域研修	産科・婦人科	救急科	救急科 (ER)	救急科 (HCU)		

和歌山県立医科大学は
どのような
研修にも
対応できます。

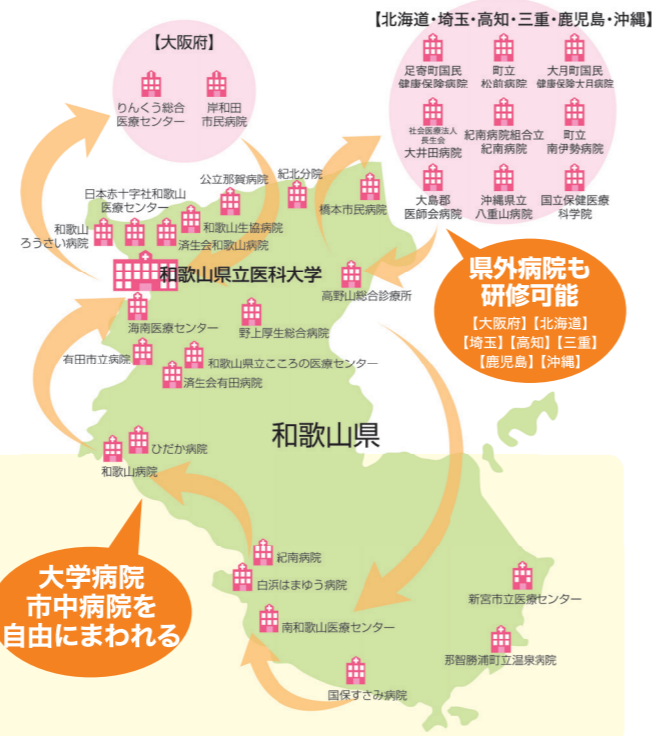
日本一の研修病院を目指して

プログラムの特長 **自由度が高い!**

必修科・選択科を問わず、また協力型臨床研修病院・施設についても1カ月単位から研修先の選択が可能です。ローテーションを決める研修医会議を3カ月ごとに行うため、情報交換をしながら希望に合わせた自分なりのプランを組立てることができます。協力型臨床研修病院・施設も多くあり、大学病院とは違う環境での研修を選択できるなど幅広い経験をすることも可能です。

そのため、将来進みたい科が決まっている方は、より重点的に選択することもでき、決まっていなくてもいろいろな科、病院・施設を回るにつれて興味が出た科を増やすなど柔軟に選択していくこともできます。他にはない当院の自由なプログラムで2年間の研修を充実させましょう。

下記のローテーション先を自由に選択できます。
(県内28施設・県外11施設)



大学病院
市中病院を
自由にまわれる

和歌山県立医科大学附属病院

- 内科系 ● 糖尿病・内分泌・代謝内科 ● 消化器内科 ● 呼吸器内科・腫瘍内科 ● 循環器内科
● 腎臓内科(人工透析) ● 血液内科 ● 脳神経内科 ● リウマチ・膠原病内科

● 高度救命救急センター(救急集中治療部)

- 小児科 ● 神経精神科 ● 産科・婦人科 ● 心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科
● 消化器・内分泌・小児外科 ● 脳神経外科 ● 整形外科 ● 形成外科 ● 泌尿器科 ● 眼科
● 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ● 皮膚科 ● 放射線科 ● リハビリテーション科 ● 麻酔科
● 病理診断科 ● 腫瘍センター(緩和ケア) ● 臨床検査医学 ● 薬物療法 ● 感染制御部

協力型臨床研修病院

- 日本赤十字社和歌山医療センター
- 和歌山ろうさい病院
- 和歌山生協病院
- 橋本市民病院
- ひだか病院
- 紀南病院
- 南和歌山医療センター
- 新宮市立医療センター
- 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- 済生会和歌山病院
- 公立那賀病院
- 海南医療センター
- 国立病院機構和歌山病院
- 有田市立病院
- 済生会有田病院
- 和歌山県立こころの医療センター
- 岸和田市民病院(大阪府)
- りんくう総合医療センター(大阪府)

協力型臨床研修施設

- 国保野上厚生総合病院
- 国保すさみ病院
- 高野町立高野山総合診療所
- 国立病院機構和歌山病院
- 白浜はまゆう病院
- 那智勝浦町立温泉病院
- 足寄町国民健康保険病院(北海道)
- 町立松前病院(北海道)
- 大月町国民健康保険大月病院(高知県)
- 社会医療法人長生会大井田病院(高知県)
- 紀南病院組合立紀南病院(三重県)
- 町立南伊勢病院(三重県)
- 大島郡医師会病院(鹿児島県)
- 沖縄県立八重山病院(沖縄県)
- 和歌山市保健所
- 海南保健所
- 岩出保健所
- 湯浅保健所
- 御坊保健所
- 田辺保健所
- 国立保健医療科学院(埼玉県)

プログラムの特長 **プライマリ・ケア能力の 飛躍的UP**

一次～三次まで幅広い症状の患者さんに対応する救命救急センターにて、圧倒的な質と量で研修できる救急研修こそが、プライマリ・ケア能力を飛躍的にのびします。

プログラムの特長 **大学病院ならではの 全科サポート、恵まれた環境**

プライマリ・ケアから専門科診療に至るまで完結した研修が実現できます。

● 研修医勉強会

1年を通して各科の先生より基本的な必須知識や救急疾患のミニレクチャーが昼休みに行なわれています。また、研修医が主体となり各科の協力を得て、画像読影、心電図、実技、症例ディスカッションなど様々な勉強会を定期的で開催しています。



● 大学院入学が可能

初期臨床研修期間であっても、本学大学院博士課程での勉強との両立が可能です。

● AHA-BLSヘルスケア プロバイダーコースの実施

採用研修医全員に、BLS講習を行います。この講習を修了し合格すれば、ヘルスケアプロバイダーカードが発行されます。受講料は無料です。



● 急性期医療への対応(高度救命救急センター)

当院の大きな特色のひとつである一次～三次救急では、救急専門スタッフ+各科のスペシャリストが協調して対応しています。プライマリ・ケアの能力向上をめざし、診断から治療までの完結した研修で、自己の課題に気づくことができるでしょう。



● 短期海外留学研修

希望があれば2年目に短期の海外留学研修が可能です。約4週間海外の医療と日本との違いを学び、世界的な先進医療に触れることができます。海外で活躍している和医大のOBがホスト役となって留学を手助けしてくれるので安心です。

● 和歌山研修ネットワーク参加

和歌山県内の9つの基幹型臨床研修病院全てが相互に協力病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムに参加しています。

